

23年度 パドラーズトピックスー27

12月26日・三種町での大根、野菜堀



12月3日にあきた空き家かんり組合の杉渕公咲さんと北秋田市増沢集落の農家の皆さんの協力で陸前高田の仮設住宅に大根220本、長ネギ210本、チンゲン菜100株などの野菜12種類を配布してきましたが、その後気仙沼の方々から自分たちも被災地気仙沼の為に何か出来ることがあればやりたいと話があり、三種町のNPO法人一里塚の清水理事長にお話をしたところ、私たちも何か出来ることが無いかと考えていたところなので、ちょうど大根とキャベツがあるのでみなさんで堀って、私が気仙沼まで運んで行きますと言ってくれました。あいにくの寒波で心配しましたが、気仙沼から参加した小野寺さんや五十嵐さんの心意気と、自ら被災しても被災地のために何かできることをしたいという思いが通じたようで、青空も見え、またハウスの中での作業などもあり、楽しく行うことが出来ました。



干した大根も漬物や鍋に最高ということでこれも頂きました。
キャベツも雪の下で大変甘みもあり、大根同様おいしいとのことでした。

今回、秋田学生復興支援ネットワークのA I Uの学生3名と遊学舎から2名、パドラーズ3名、気仙沼4名、一里塚さんからは12名の皆様から協力して頂スムーズに収穫出来ました。



大根1000本、キャベツ200個をトラックに積み込み、27日に気仙沼へ運ぶ為の準備です。その後ハウスの中で皆さんとの記念撮影です。昨今電話取材で済ます記者が多い中、魁さんと毎日さんにはこの寒波の中の取材に対して記者魂を参加した皆さんが大いに感じていました。私に言わせれば、この寒さの中大根堀に来る方も方だと思えます。また夜も三種町の関係者とも気仙沼の方たちとの交流会もあり、今後の気仙沼と三種町との交流も来年はもっと活発にしていこうと話もあり大いに盛り上がりました。



27日、清水理事長自らトラックに乗り、仮設の気仙沼南町商店街にもって行きました。本当に清水理事長の配慮には感謝申し上げます。ありがとうございました。